

2 保険会社およびその子会社等の主要な業務

平成12年度の事業の概況

平成12年度の日本経済は、前半は、アジア向けのIT関連製品など好調な輸出に牽引されて、企業部門が堅調に推移したため、景気は前年度からの緩やかな回復基調を継続しました。しかし、年度後半は、個人消費が回復感に欠ける中、米国を中心とした海外景気の減速を背景に、輸出が頭打ちとなったことで、企業の生産活動が鈍化し、景気の減速傾向が強まりました。

このような情勢のなかで、当社グループは、生命保険、損害保険、年金、アセットマネジメント、医療・介護保障をコア事業として、お客さまのニーズに対応する取り組みを行なってまいりました。損害保険分野では、明治損害保険株式会社から、人身傷害補償保険をセットした総合自動車保険「MAM」の発売、豪州の大手損害保険グループQBEと提携し法人の貸し倒れリスクを軽減する「取引信用保険」の発売等お客さまのニーズに対応した商品を提供するとともに、「自動車保険センター」の稼働等によるサービスと利便性の向上に努めました。アセットマネジメント分野では、明治ドレスナー・アセットマネジメント株式会社と明治ドレスナー投信株式会社が合併（平成12年7月、新社名は明治ドレスナー・アセット

マネジメント株式会社）し、一層高度な資産運用サービスを提供しています。

この結果、経常収益は、3兆2,923億円となりました。このうち、保険料等収入は2兆3,211億円、資産運用収益は5,150億円です。一方、経常費用は、3兆1,129億円となりましたが、このうち、保険金等支払金は2兆3,323億円、資産運用費用は1,560億円、事業費は3,195億円です。以上により、経常利益は1,793億円となりました。

以上の結果、当期純剰余は962億円となりました。

主要な業務の状況を示す指標

(単位：百万円)

項目	平成10年度 (自平成10年4月1日 至平成11年3月31日)	平成11年度 (自平成11年4月1日 至平成12年3月31日)	平成12年度 (自平成12年4月1日 至平成13年3月31日)
経常収益	3,639,876	3,782,066	3,292,317
経常利益	120,296	186,809	179,358
当期純剰余	30,012	76,043	96,268
総資産額	17,325,394	16,851,953	17,540,974

VI

保険会社およびその子会社等の状況